



1. 活動日時：2014年10月25日（土） 10:00～15:00

2. 参加者： 8名（社友GS 6名 現役GS 2名（金井さん・田平さん））

3. 活動内容

- ・フクロウのペアリング（求愛）は11月頃から始まり、12月になると徐々に営巣地近くを中心に行動するようになると言われていいますから、昨年営巣した木のある「クリの木広場」やそれに隣接する上部植栽地の整備は10月中に終わっておく必要が有ります。
- ・そこで今回は、前回（9/27）のチーム神於山の活動で刈り残した「クリの木広場」と、上部植栽地のネザサを念入りに刈込みました。これでフクロウの営巣期間が過ぎる来年6月位まで、ネザサ刈りは控えます。
- ・また巣箱も、「産座」を追加して、昨年フクロウが営巣した「クリの木広場」周辺の目標の木に2個架けました。あとは、フクロウが気に入ってくれるかどうかですが、結果はともあれ今回は巣箱を架けるまでのプロセスで色々楽しませてもらったので良かったと思います。活動頂いた8名のGSの皆さん、お疲れ様でした。

4. 今後の活動目標

- ・作り置きしている3個の巣箱に「産座」を追加し、目標の木に架設した後は、植栽地の細い木の除伐と竹林の整備が神於山の活動のメインテーマです。
- ・また秋冬の活動では、暖取りで新しい釜場が活躍しますから、余熱を利用した昼のイベントが楽しみです。別途活動要領をご案内しますので、奮ってご参加ください。

■ 上部植栽地のネザサの整備刈込み。

これで来年6月位まで、ネザサ刈りは控えます。



林道側の仕上げ刈り。刈っているのは社友の原さんです。



生き返ったモミジを透かして見た上部植栽地。



沢筋の植栽地もスッキリ。中央のササは保存エリアです。



クリの木広場（左上方）に続く沢筋の植栽地。

- ・炭焼に使う材が欲しい（NPO）神於山保全くらぶさんから、間伐しては？との誘いを受けています。
- ・炭焼には腕の太さ位の木が適していますから、植栽地の木は合格ラインにきていますし、伐った木を有効に活用する為には保全くらぶさんとのコラボレーションも検討する必要が有りそうですが、その前に、沢筋を中心に、まだまだ多くある細い木の除伐を進める必要が有ります。
- ・「フクロウの棲む森づくり」と並行して、本来の育林活動も本格化します。

■フクロウの巣箱掛け。

“産座”を追加し、ポイントになる上部のクリの木広場近くに2個架けました。



稲わらの産座。自信作です。

- ・山梨県猛禽類研究会・Raptor Japan（日本猛禽類研究機構）に所属されている青木進さんと言う方の「猛禽の部屋」というホームページに、フクロウも“産座”を作ると書かれていました。
- ・昨年産卵した卵が、巣箱の隅に有ったのが気になっていただけに、目から鱗の情報で早速取り入れ“産座”作りにトライ。
- ・吊り籠用のパームマットなどを持ち込み、いざ検討となった時に、社友の吉田さんが「稲わらなら有るよ。」と一言。
- ・早速取りに帰ってもらって作ったのが左の写真の稲わらの“産座”です。
- ・劇的ビフォーアフター風に言う「作った人間から言う満点ですが、さてフクロウさんに気に入ってもらえるでしょうか？」です。どうなるか楽しみがまた一つ増えました。

＜巣箱第1号＞



設置完了

＜平成26年度 巣箱「第1号」＞

- ・昨年営巣した木に、昨年営巣した現役の中村チームの巣箱のリフォームタイプを架けました。
- ・架け方も、現役の金井さんの発案で、固定用の針金と木の間にスペーサーを挟むなど、木に優しい配慮をしています。
- ・もし今年もこの巣箱に営巣したら、神於山シャープの森ではベストポジションと言えそうです。

＜巣箱第2号＞



当初の目標

修正目標



設置完了



1号

2号

第1号、第2号の位置関係

＜平成26年度 巣箱「第2号」＞

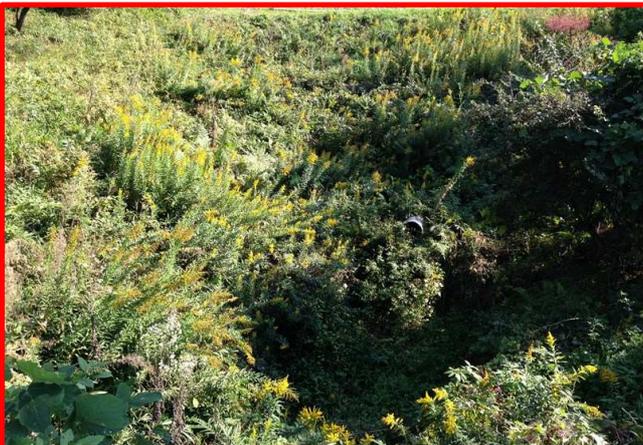
- ・当初目標にしていた木は、昨年も第一候補に挙げていましたが、枝が三方に分かれていて固定が難しいことから断念しました。
- ・10月11日のSGC活動で、「カワセミ写真倶楽部」幹事長の成瀬正夫さんが推奨されたことから再度チャレンジしましたが、巣箱を乗せる棚を用意しないと架けられないことから今年も断念し、すぐ後ろのヒノキの幹に架けることにしました。
- ・架けた巣箱は、社友の原チームのリフォームタイプです。
- ・1号と2号の位置関係は左の写真の通りで、2号も、クリの木広場の原生林側に位置していて、1号同様見晴らしの良い場所です。



- ・チーム神於山のメンバーには、現在 21 名（社友 GS 19 名、現役 GS 2 名）登録されていて、都合の付く方が入れ代わり立ち代わり参加されています。
- ・共通しているのは、山で何やかやワイワイ言いながら活動するのが好きな仲間ということでしょうか。

■課題

今後は竹林の整備が活動のメインですが、途中の暗渠周りと尾根道への入口の整備も課題です。



暗渠周り。雑草の山です。



林道から尾根道への入口。これでは入れません。



本来の暗渠周り。2011.10.27 撮影

- ・今後のテーマは竹林の整備ですが、竹林に向かう途中の暗渠周りや尾根道入口が草茫茫状態になっています。
- ・フクロウの為に尾根道に人が入らないのは歓迎ですが、神於山の遊歩道の一つですから、近隣で活動している私達にとって放置はできない所です。
- ・また暗渠周りには、香遠さんがサクランボの木を植えていますから、以前から気になっています。
- ・11月8日のSGC活動は、残る3個の巣箱掛けがメインですが、暗渠周りや尾根道の入口は刈払機で綺麗にしたいですね。